

平成29年度 事務事業評価シート

<b>事務事業名</b>		<b>教育懇話会</b>					所管	教育委員会 指導課		
<b>事務事業の概要</b>	行政計画	事業NO.	—	計画事業名	(行政計画外事業)			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標]							[事業開始] 平成19年度	
		[小 柱]							[終了予定] - 年度	
		[施 策]								
	根拠法令等	その他		[法令等名]	要綱等なし					
	事業対象	幼児・児童・生徒・区民								
	事業目的	「台東区教育委員会の教育目標及び基本方針」及び区が目指す学校教育の理念や方向性を示した「台東区学校教育ビジョン」の具体的な取組みなどを示す「学びのキャンパス台東 アクションプラン」を推進し、また結果の検証をすることで台東区の教育行政の改善を行う。								
	事業内容	有識者と校園長の代表者、教育委員会とで構成する懇話会を開催し、「学びのキャンパス台東 アクションプラン」実現のための具体的な推進策などを検証・検討する。								
委託の有無	なし		委託内容							
補助金の有無	なし									
<b>事務事業の実績</b>	種 別	指標の名称		(単位)	目標値 (31年度)	26年度	27年度	28年度		
	活動指標	懇話会開催回数		回	5	3	5	5		
		懇話会講師数		人	5	3	5	5		
	成果指標									
	決算額 (単位：千円)					78	130	130		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)				1,700	1,604	1,783		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)				0	0	0		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)				78	130	130		
		総経費				1,778	1,734	1,913		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)				0	0	0		
その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0				
一般財源 (区負担額)				1,778	1,734	1,913				
前回評価から改善した事項	教育課題の具体的な推進策を検討するために、校園長を対象に実施していた講演会を実施するのではなく、懇話会を充実して実施することで、当面する教育の課題についてより深く話し合うことができた。									
<b>評価の視点</b>	評価	評価の理由								
	必要性	3	教育委員会と校(園)長が専門的な知識を持つ有識者を交えて、区が抱えている今日的な教育課題について懇談の機会を設けることは、区の教育行政の質的向上を図るために必要である。							
	効率性	3	区職員ではなく、専門的な知識を有した方との懇談を行う事業の必要な経費であり、年間を通して計画的な実施ができています。							
	手段の適切性	3	専門的な知識を有した有識者との懇談であり、他の実施方法により同様の効果が得られることは難しい。							
	目的達成度	3	アクションプランの取組を推進していくため、懇話会を定期的実施し、有識者より専門的な意見をもらうことができ有効である。							
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	維持		
有識者から意見を懇談会の形式でもらうことは、区の教育の質的向上を図るために有効であり、これからも継続的に実施していく。							拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			